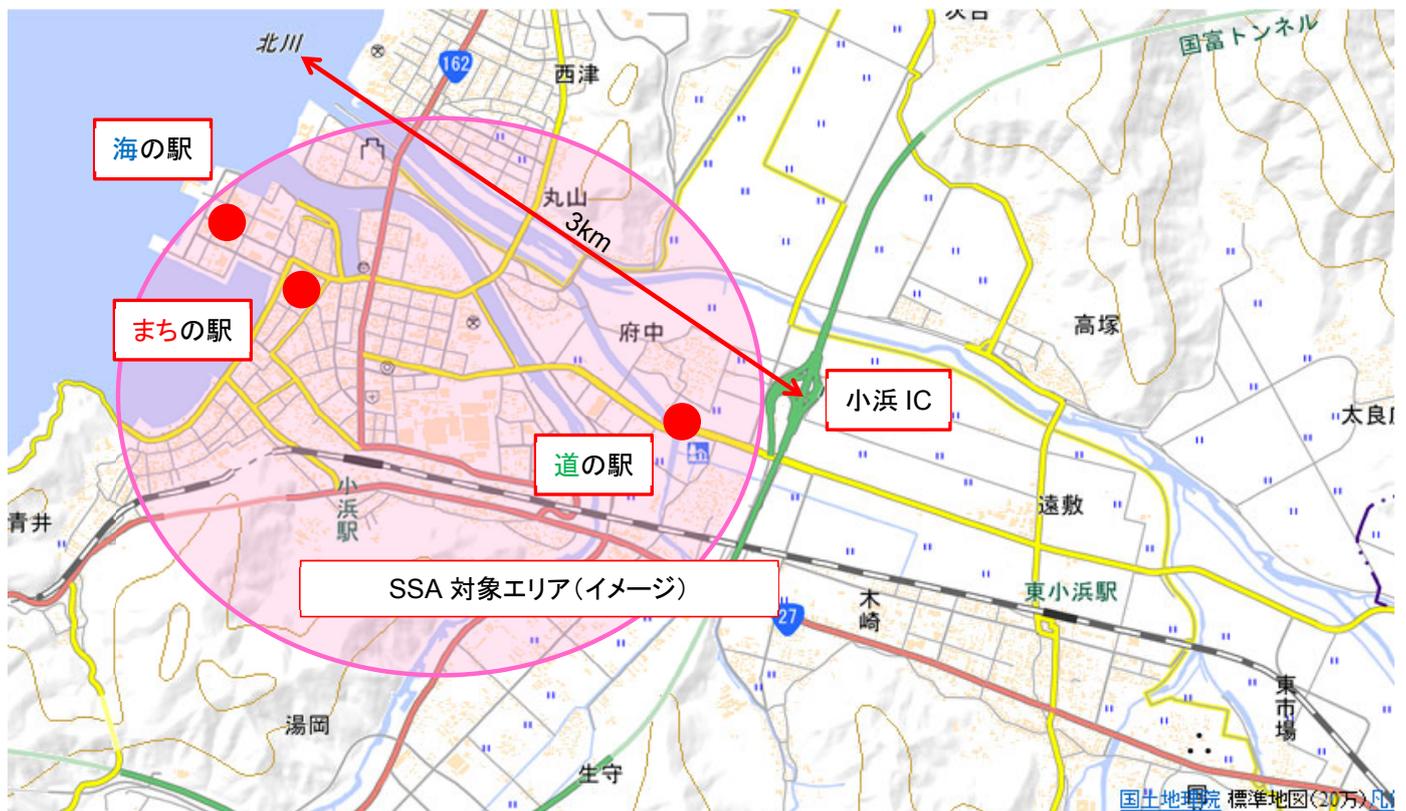


舞鶴若狭自動車道と道の駅を活用した社会実験について

福井県 小浜市 産業部 都市整備課

1. はじめに

小浜市をはじめとする若狭地方にとって悲願でありました舞鶴若狭自動車道が今年の7月20日に全線開通し、本市としてもこの開通効果を最大限に活かしていく必要があります。しかし、一方で、サービスエリアの間隔が150kmを超える長距離となり、高速道路利用者はガソリンスタンドや物販施設の少ない区間を走行する状況となっています。また、一般道路の利用者が高速道路に転換することにより、道路利用者がこの地域を通過するのではないかと懸念もあることから、高速道路利用者の誘客が課題となっています。そこで小浜市では、道の駅「若狭おばま」が小浜インターチェンジに近接していることに着目し、高速道路上で道の駅やガソリンスタンド等の情報を提供し、小浜市内全体をSSA（スローサービスエリア：地域全体をサービスエリアととらえ、ゆとりと多様性のあるサービスを地域全体で提供しようとする構想）と位置づけ、高速道路利用者を誘導する取り組みについて、国土交通省の社会実験に採択していただき、実施主体として「さとうみハイウェイ社会実験協議会」を設立し、実験を行いました。ここにその概要と結果を紹介します。



2. 地域の概要

小浜市は人口約3万人で、福井県の南西部、若狭地方のほぼ中央に位置しています。古代から日本海を隔てた対岸諸国との交易が開け、日本海側屈指の要港として栄え、陸揚げされた大陸文化や各地の物産は「鯖街道」などを経て、近江、京都、奈良にもたらされました。大陸とのつながりは、市内に点在する数多くの文化遺産からもうかがい知ることができます。この鯖街道については、小浜市・若狭町「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道」として、今年4月24日に日本遺産の第1号認定を受けました。

また、小浜市を含む若狭地方を貫く舞鶴若狭自動車道については西から整備が進み、これまでに小浜インターまでが供用していましたが、昨年7月に敦賀までの全線が開通し、若狭地方を東西に結ぶ高速道路網が完成しました。

3. 小浜市の観光施策 ～3 駅連携構想～

小浜市では、道の駅「若狭おばま」に加えて、御食国若狭おばま食文館とその周辺を「海の駅」、現在整備中である小浜西組重要伝統的建造物群保存地区につながる拠点を「まちの駅」と位置づけ、この3駅を連携することにより市内を回遊していただくことで、まちの賑わいを創出していくという「3 駅連携構想」を進めています。これらの「3 駅」は小浜インターチェンジから半径3km以内に位置しており、ほぼこの範囲内に、三丁町と呼ばれる古い町並みや、後瀬山の寺院群、県の無形文化財に指定されている放生祭（ほうぜまつり）など、多くの小浜らしさを感じさせる地域資源が存在するとともに、総合病院や市役所などを中心に多くの都市機能が集約しています。今回の実験ではこの3 駅連携構想を一歩進め、高速道路との連携を図ることで、高速道路利用者の利便性を高めるとともに地域の活性化に資する手段を検討しようとするものです。

4. 舞鶴若狭自動車道と道の駅を活用した社会実験の実施

社会実験の主な内容は以下のとおりです。

- ① 高速道路上に案内看板・横断幕を設置し、小浜インターチェンジを降りすぐのところに道の駅「若狭おばま」があることをお知らせする。（設置期間：平成26年10月30日～12月5日）



- ② 高速道路上の周辺のサービスエリアやパーキングエリアに仮設の案内所を設置し、案内人により道の駅や市内のガソリンスタンド等の情報、あるいは市内の食事や観光の情報を提供する。併せて、道の駅などで利用できるクーポン券を配布する。(平成 26 年 11 月中の土、日、祝日)



- ③ 道の駅「若狭おばま」にも仮設の案内所と案内人を配置し、高速道路利用者に対して、より詳しい情報提供を行う。(平成 26 年 11 月中の土、日、祝日)

- ④ 高速道路上の仮設案内所と道の駅「若狭おばま」において、小浜市内に立ち寄った目的や、きっかけとなった情報等に関するアンケートを実施する。(平成 26 年 11 月中の土、日、祝日)

- ⑤ 高速道路から降りてガソリンスタンドを利用する車両の台数等について調査する。(平成 26 年 11 月 29、30 日、12 月 7 日など)

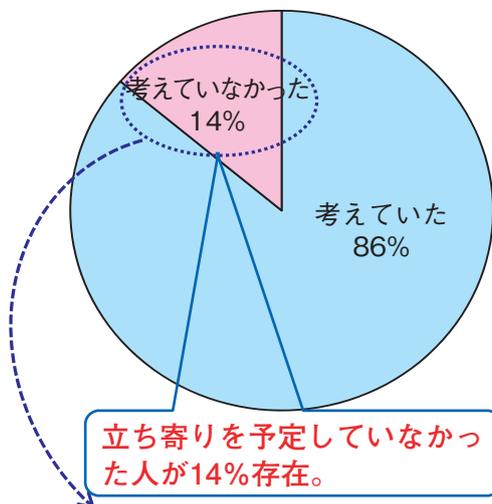
これらの実験の結果については以下のとおりでした。



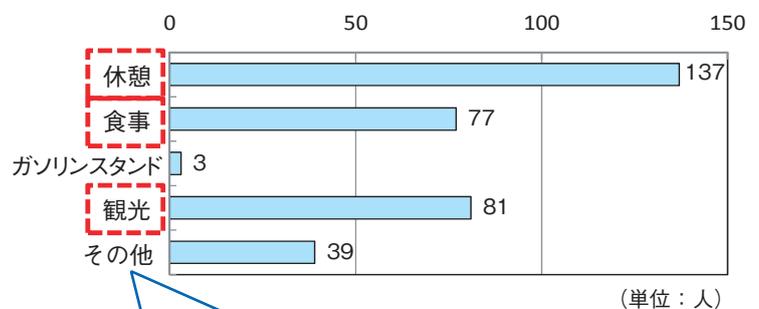
○ 小浜市内への立ち寄りについて

小浜市内に立ち寄った人のうち、旅行の出発時点では小浜市内への立ち寄りを予定していなかった人は 14%で、その目的は主に休憩、食事、観光という結果でした。

【小浜市内への立ち寄りを考えていたか】



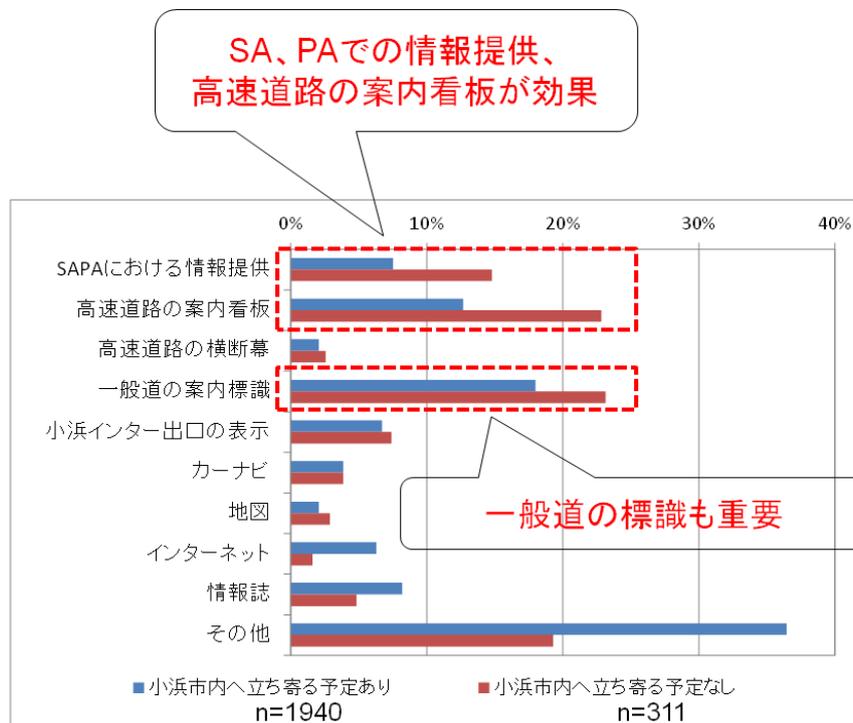
【予定外に小浜市内へ立ち寄った目的】



立ち寄った目的は、休憩、食事、観光が多い。

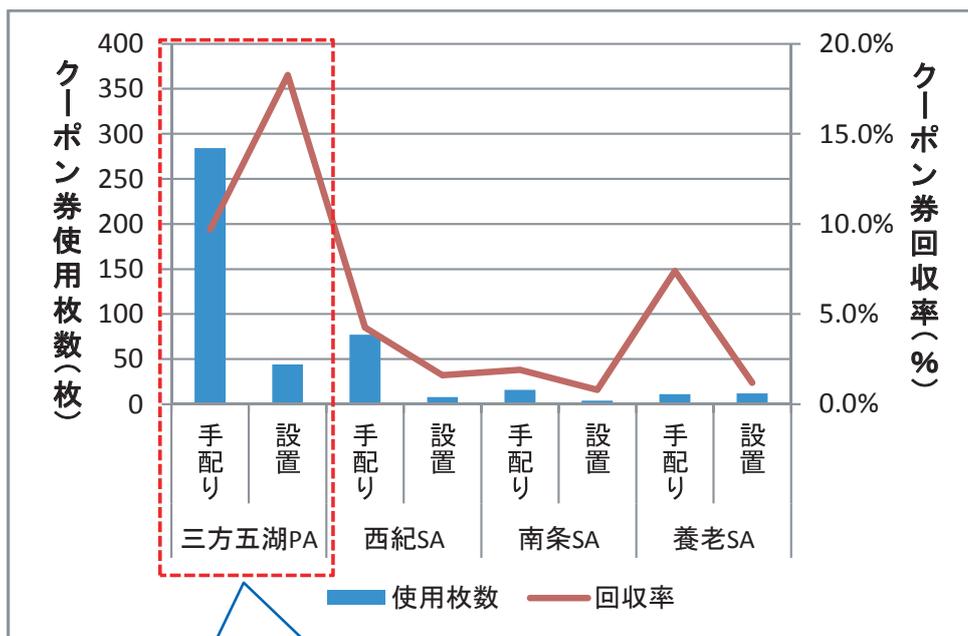
また、道の駅に立ち寄るきっかけとなった情報については、サービスエリアやパーキングエリアでの情報提供や、高速道路上での案内看板、さらに一般道の案内標識を上げる人が多いという結果でした。

【道の駅に立ち寄るきっかけとなった情報】複数回答可



クーポン券の利用状況については、今回設置した仮設案内所の中で最も小浜インターチェンジに近い三方五湖パーキングエリアで配布されたものが多いという結果でした。

SA、PA での情報提供の際に、道の駅等で使用できるクーポン券を配布。利用実績を調査

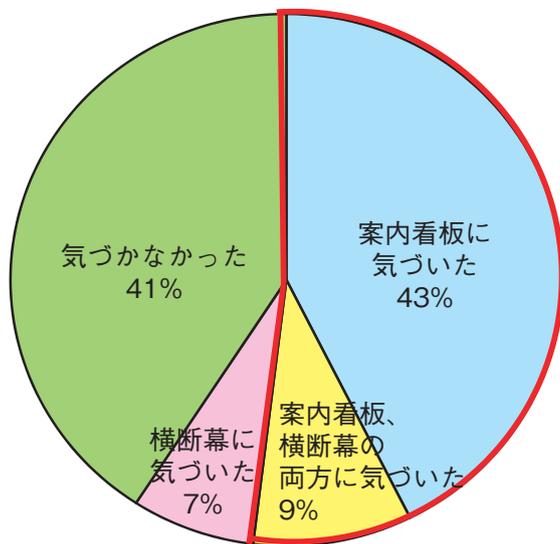


三方五湖 PA での情報提供が効果的

○ 高速道路上に設置された案内看板・横断幕について

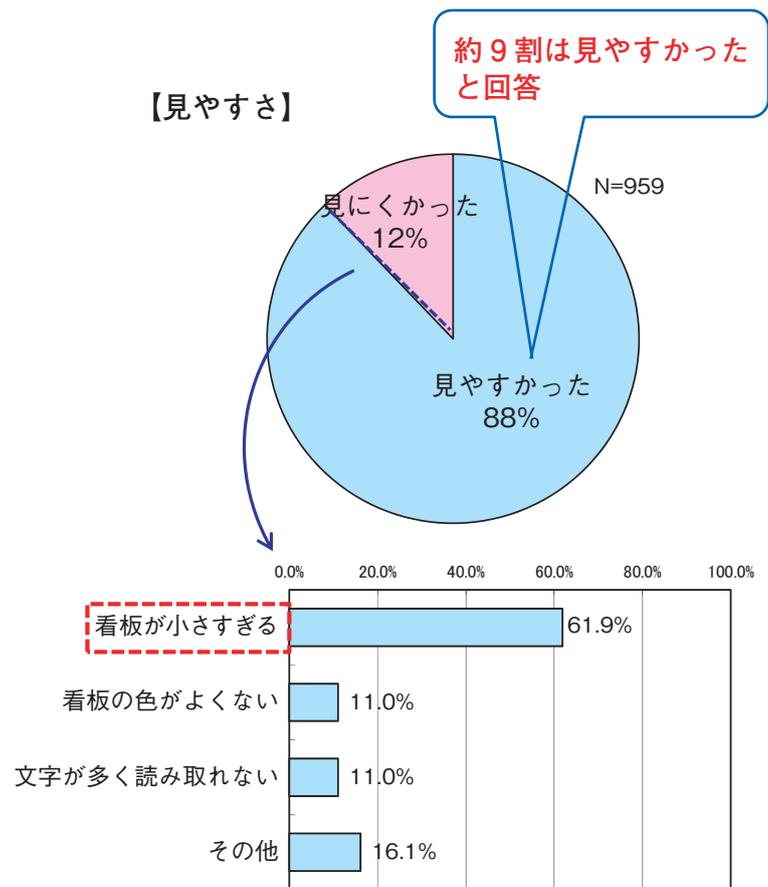
案内看板には約5割の方が気づき、その多くの方は見やすかったと回答しているが、見にくかったと答えた人の多くは看板が小さすぎるといった意見を持っていました。

【高速道路上に設置された案内の認知】



約5割は案内看板に気づいている

【見やすさ】

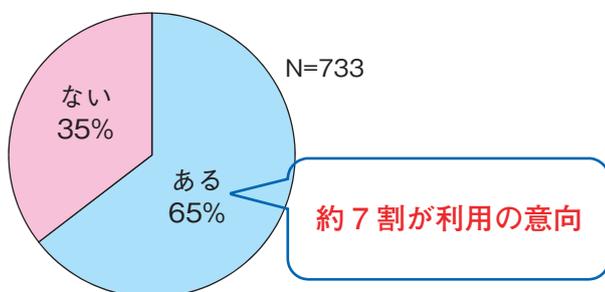


(単位：人)

○ ガソリンスタンドのニーズと利用実態について

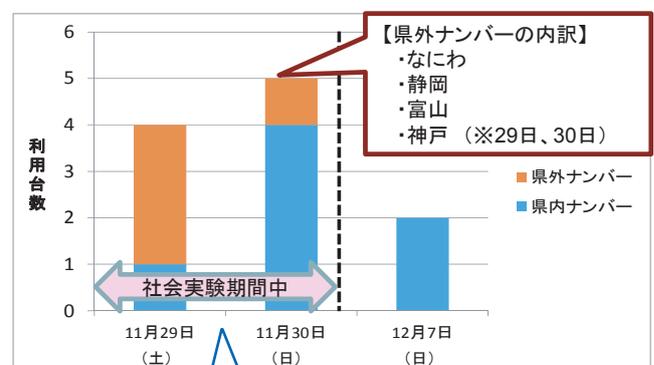
高速道上のアンケートでは、約7割の方が「高速道路から降りてガソリンスタンドを利用することはあると思う」と答えています。また、実際に高速道路から降りてガソリンスタンドに立ち寄った車の台数そのものは少ないものの、その多くは昼食の時間帯をまたいだ利用でした。

【高速道路から降りてガソリンスタンドを利用することはあると思うか】



出典：高速道路におけるアンケート

【高速道路からガソリンスタンドに立ち寄った台数】
(小浜IC→ガソリンスタンド→小浜IC)



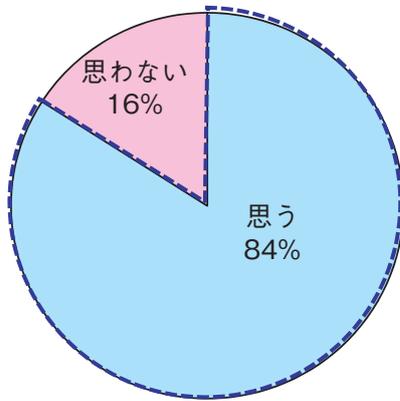
大半は、お昼をまたいだ時間での利用

出典：ガソリンスタンド利用調査(ナンバープレート調査)
：11月29日 11月30日 12月7日

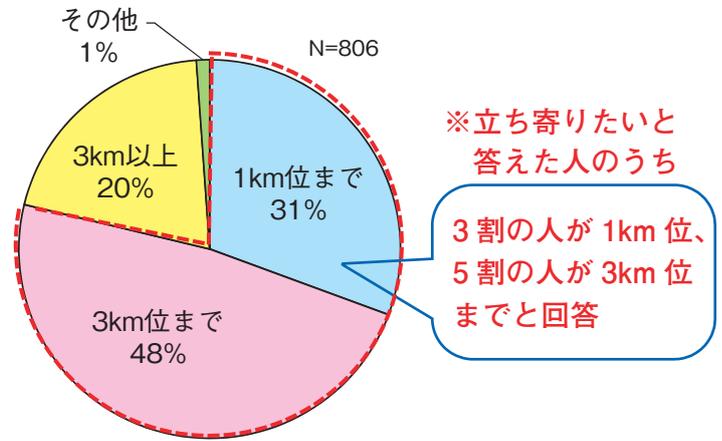
○ インターチェンジ近くの休憩施設に関するニーズについて

高速道路上でのアンケートでは、インターチェンジ近くに「道の駅」などの休憩施設があれば立ち寄りたと思うかとの問いに対して、84%の人が「思う」と回答しています。そのうち、1km以内であれば立ち寄りたという人が約3割、3km以内という人が約5割いました。

【高速 IC 直近に道の駅などの休憩施設があれば立ち寄りたと思うか】



【何キロまでなら立ち寄りたと思うか】



5. 今後の取り組み

今回の実験の結果から、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアで道の駅やガソリンスタンド等の情報を提供することにより、高速道路利用者の利便性を高めるとともに、地域に高速道路利用者呼び込むことについて一定の効果があると考えており、今後も継続的に取り組んでいきたいと考えています。

具体的には、三方五湖パーキングエリアでのPRが効果的であることが分かったので、三方五湖パーキングエリアと道の駅「若狭おばま」の連携を検討していくとともに、他の道の駅も含めた連携についても取り組んでいきたいと考えています。

また、施設間の連携にとどまらず、「イベント間の連携」によるサービスの向上と滞在時間の拡大について検討するとともに、今後は案内人の人材確保も課題になってくることから、新たな協議会を設立し関係機関と協議を進めていきたいと考えています。

6. おわりに

今回の社会実験を行うにあたって、実験の全体に渡ってご指導ご協力いただきました国土交通省様、ならびにご指導ご支援いただきました全国街道交流会議様をはじめとして、高速道路上の施設利用など多くの面でご協力いただきましたNEXCO 中日本様、NEXCO 西日本様、そして実験を実施する際に参加いただいた「さとうみ社会実験協議会」メンバーの方々ほか多くの関係機関の皆様にご心より感謝を申し上げます。